

みずほCustomer Desk Report 2022/01/27号(As of 2022/01/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.84
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	113.90	1.1304	128.75	1.3510	0.7158
SYD-NY High	114.69	1.1310	129.26	1.3525	0.7181
SYD-NY Low	113.78	1.1235	128.61	1.3445	0.7095
NY 5:00 PM	114.67	1.1243	128.82	1.3465	0.7115

NY DOW	34,168.09	▲ 129.64	日本2年債	-0.0700	0.00bp
NASDAQ	13,542.12	2.82	日本10年債	0.1400	1.00bp
S&P	4,349.93	▲ 6.52	米国2年債	1.1554	12.91bp
日経平均	27,011.33	▲ 120.01	米国5年債	1.6869	12.37bp
TOPIX	1,891.85	▲ 4.77	米国10年債	1.8718	9.75bp
シカゴ日経先物	26,945.00	▲ 215.00	独10年債	-0.0735	1.00bp
ロンドンFT	7,469.78	98.32	英10年債	1.1980	3.45bp
DAX	15,459.39	335.52	豪10年債	1.9740	1.60bp
ハンセン指数	24,289.90	46.29	USDJPY 1M Vol	5.80	▲0.54%
上海総合	3,455.67	22.61	USDJPY 3M Vol	6.13	▲0.33%
NY金	1,829.70	▲ 22.80	USDJPY 6M Vol	6.40	▲0.20%
WTI	87.35	1.75	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	251.927	3.15	EURJPY 3M Vol	7.00	▲0.38%
ドルインデックス	96.48	0.54	EURJPY 6M Vol	7.24	▲0.19%

東京	東京時間のドル円は113.90レベルでオープン。前日に続き日経平均の軟調な動きを受けたリスクオフ地合いから上値重く推移し仲値後に113.78まで下落。もっとも、売り一巡後は日経平均が下げ幅を縮小する動きやFOMCを控えた様子見感から方向感に乏しい展開となり、結局オープンと同水準の113.90レベルにて海外時間へ渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は113.90レベルでオープン。米FOMC会合の結果発表を控え様子見ムードの中、米長期金利や欧米株が堅調に推移した事を背景にドル円も値を上げ114.19レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場ではリスクオンで円が売られる動きやFOMC結果発表を前にドル買い戻しが強まり、海外市場で114.24まで戻したドル円は、114.19レベルでNYオープン。朝方は米株先物が大幅上昇する中、クロス円の買いや、10時に発表された米12月新築住宅販売が予想を上回ったこともあり114.38まで戻す。その後は株式市場が上げ幅を縮小する動きに114.22まで下落するが、再び上昇する展開に114.37まで戻す。注目のFOMC声明文では、「もうすぐ利上げすることが適切」と特段驚くような内容ではなかったが、次回の会合で50bpの利上げの可能性や、事前に予想されたテーバリングを更に早めることや、QTに関する言及はなく、株式市場はこれを好感し上昇する展開にドル円は114.49まで上昇した。その後開始されたパウエル議長の記者会見では、3月の利上げを示唆する発言があった後、「毎回のFOMCで金利を引き上げる可能性を否定しない」と話したことから米金利が急伸する展開にドル円は114.69まで上昇したが、株式市場が急反落する展開に円買いが優勢となり、ドル円は114.41まで反落。しかしパウエル議長の「利上げの幅は決めていない」との発言を受け、次回FOMCでの50bpの利上げの可能性が残っていることからドル買いが継続し、114.67レベルでクロスした。一方、ユーロドルはFOMCを控え、ドルが買い戻される展開に1.1275まで下落し、1.1277レベルでNYオープン。朝方は1.1272まで下落するが、ユーロ円が上昇し、ドル買いが一服する展開に1.1296まで戻す。その後株式市場で利益確定の売りが持ち込まれ1.1275まで反落するが、株式市場が再び上昇する動きに1.1294まで戻す。午後は、FOMC結果発表を受け一旦1.1301まで上昇する局面もあったが、パウエル議長の発言を受けたドル買いや、株安を受けたユーロ円の売りにサポートと意識されていた1.1260を抜け、その後もドル買いが継続し、1.1235まで下落し、1.1243レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:綿引・小林

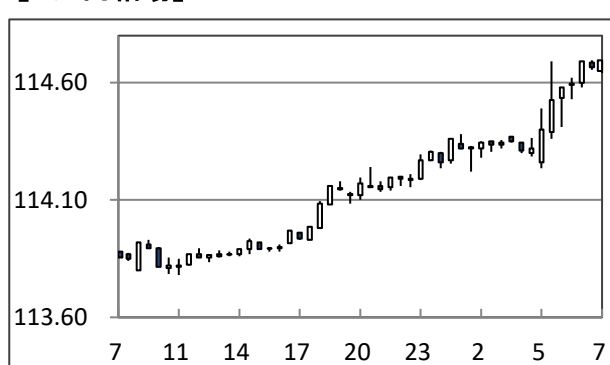
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
1月26日	14:00	日 景気一致指数・確報	11月	92.8	-
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	12月	2.1%	1.2%
1月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	12月	811k	760k
	04:00	米 FOMC政策金利(上限/下限)	26-Jan	0.25%/0%	0.25%/0%

【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
1月27日	22:30	米 新規失業保険申請件数	22-Jan	265k	286k
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	12月	-0.6%	2.6%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q A	5.5%	2.3%
	22:30	米 個人消費	4Q A	3.4%	2.0%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q A	4.9%	4.6%
1月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	12月	-0.4%	-2.2%

【ドル円相場】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.20-115.10	1.1200-1.1280	128.60-129.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、上昇する展開。113円台後半でオープン後、アジア時間についてはFOMCを控えて動意に乏しい値動きが継続し、小幅なレンジでの推移に終始。海外時間に入り、FOMCにて政策金利の据え置きを決定する一方、パウエル議長の会見では3月の利上げに加え、利上げ後にバランスシート圧縮を早期に実施する方針が示され、引き続きタカ派姿勢を見せたことでドル円は上昇圧力が強まり、114.60水準を超える水準まで値を上げてクローズした。

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日のFOMCにて、改めてパウエル議長のタカ派スタンスが確認されたことで、目先は115円水準を目指した堅調推移を想定する。同水準以降は、実需勢からのフローが上値を抑える可能性も鑑み、局所的な上昇圧力は緩むと見込む。一方、ロシア・ウクライナ問題に端を発した地政学リスクの高まりからリスクセンチメントが大きく悪化する場合は、一転ドル売り/円高圧力の流れにも留意したい。

【対円騰落率(日次)】

